

## 地球温暖化防止

# エコラム ECO-LUMN

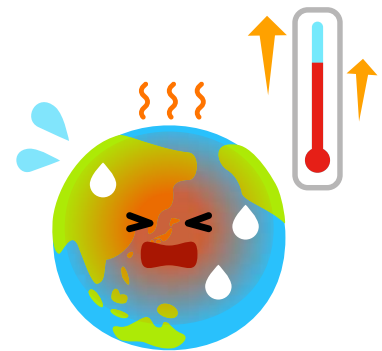
Vol.174

環境保全課 ☎ (29) 5100

### 地球温暖化と水蒸気

地球温暖化が関係していると考えられる深刻な気象災害が世界各地で多発しています。日本も例外ではなく、近年では平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風などの気象災害が発生しています。

こうした豪雨や台風などの風水害が深刻化する要因の一つとして、空気中に含まれる水蒸気の量が増えることが考えられます。台風は、暖かい海面から供給された水蒸気が上空で雲になるときに放出される熱をエネルギーにして発達します。温暖化などにより海面の温度が高くなると水蒸気の供給量が多くなり、台風が発達しやすくなります。また急な大雨や雷の原因となる積



自分たちでできることから地球温暖化防止に取り組みましょう

乱雲は、上空に冷たい空気、地上付近に暖かい空気があると発生することがあり、地上付近の暖かい空気が湿っているとより発達しやすくなります。

また空気中の水蒸気の増量は気象災害だけではなく、温暖化そのものにも影響を与えています。暖かい空気は多くの水蒸気を含むことができる性質を持っています。水蒸気には温室効果があるため、温暖化により空気中の水蒸気が増えると、増えた水蒸気の温室効果でさらに温暖化が進む、という悪循環が生まれてしまう恐れがあります。このような悪循環を止め、深刻な気象災害を増やさないためにも、地球温暖化の防止が必要なのです。

## ごみ

### ちょっと気にして、 もっと気にして!

環境事業課 ☎ (31) 5304

環境事業所 ☎ (31) 7710

総合支所

### 災害時のごみ処理について

近年全国各地で豪雨や地震など、大規模災害が多く発生しています。災害時には通常の生活ごみに加え、壊れた家具や家電などの災害ごみが大量に発生することが予想されます。市では災害により発生する廃棄物を適正に処理することなどを目的に「岩国地域災害廃棄物処理計画」を策定し、大規模災害の発生に備えています。ホームページや市役所情報コーナーに備え付けの冊子で確認することができますので、ぜひご覧ください。

また日ごろから自治会などで災害ごみを出す一時的な場所や分別ルールを話し合っておくと、いざというときに速やかに持ち出すことができます。

災害時でもごみを迅速に処理するために平時からの準備をよろしくお願いします。

ちょっと聞いて



10月は「循環型社会形成推進月間」です

循環型社会を形成するためには、3R(リデュース、リユース、リサイクル)に取り組むことが大切です。

〇〇自治会臨時集積場



災害ごみを臨時的に持ち出す場所での分別例